

女性大学院生・学部生のための キャリア・パス講演会

平成26年2月12日に開催された女性大学院生・学部生のためのキャリア・パス講演会&交流会の様態と研究者から研究者を目指す方へのメッセージをご紹介します。



大学院工学資源学研究科 山口 留美子 先生を講師にお招きし、「ワーク・ライフ・バランス：研究と家庭の両立」と題し、ご自身の結婚・出産などのライフイベントと研究をどのようにして両立させてきたか、ワーク・ライフ・バランス実践のために何が必要だったかなど実体験をもとにお話いただきました。

「案ずるより実践、ワーク・ライフ・バランス」先の事を深く考えるよりも目の前の出来ることを実践していく。研究と生活・家庭を両立されてきたからこそのお言葉。とても印象に残りました。参加された大学院生・学部生のみなさんにとって、将来像を考えるきっかけとなりましたら幸いです。



講演後に開催した交流会では、山口先生を囲んで研究について話を聞いたり、参加者のみなさんが学内外隔てなく、仕事や研究、学業などの話題で盛り上がり、和やかな雰囲気となりました。



平成26年2月12日に開催した「女性大学院生・学部生のためのキャリア・パス講演会」のイベントをもとに作成いたしました。

主催：秋田大学 男女共同参画推進室 **coloconi** 

～女性大学院生・学部生のためのキャリア・パス講演会～

講師のご紹介



秋田大学大学院工学資源学研究科
准教授 山口 留美子 先生



《プロフィール》

秋田大学 鉱山学部 電子工学科を卒業

→ 秋田大学 鉱山学部 電子工学科へ勤務

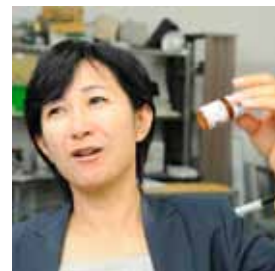
→ 2年後に結婚 2人の子供を出産

→ 子育てもひと段落つき、仕事三昧の日々を送る

研究内容について

～液晶と高分子の複合系素子、高分子材料における 液晶配向現象に関する研究～

山口先生は、現在、大学院工学資源学研究科 電気電子工学専攻 准教授、光デバイス研究室 主任を務められており、電気エネルギーの発生、電子や光の動きを制御するデバイス、情報通信、制御システムなど、知的な社会活動の基盤となる電気や電子の科学技術の研究をされています。



山口留美子先生にインタビューしました

Q 進路を決定したきっかけや今の研究をしようと思ったきっかけを教えてください。

A ノートPCがラップトップPCと呼ばれていた頃、液晶ディスプレイ搭載された製品が出回り始めていました。液晶テレビも現実味を帯びてきた時で、大学も企業も液晶研究が盛んに行われていました。当時の電子工学科にも液晶を研究している研究室があることを知り、配属を希望をしました。進路として大学に教職員として残ることになったのは、たまたまチャンスに恵まれたからだと思います。現在のテーマの始まりのきっかけは、指導教授の研究の環からですが、自分自身の新しいテーマとして研究できるような発見をいくつかすることができたことで、研究者としてやっていこうという思いが強くなりました。

Q 子どものころになりたかった職業や憧れていた職業は何でしたか？また、それが今の職業決定に関係した部分はありますか？

A 不思議と中学、高校と美術の成績が良く（美術部員ではありません。なぜか、美術の先生に気に入られることが多かった）、自分の感性やアイデアで勝負し、唯一無二の作品を作り出すという作業は大変気に入っていました。この感覚は研究する上でも共通点が多いと思っています。



女性大学院生・学部生の皆さんへのメッセージを一言お願いします。



研究という楽しいことを、男性ばかりにやらせておくなんて、もったいない。また、研究にとどまらず、女性が少ない分野にどんどん進出していけば、おのずと子育てや介護の環境も整えられて、より充実した社会になると思います。

～ご参加いただいた研究者の方からのメッセージ&インタビュー～

I believe that being passionate on your research and taking delight in studying are much more important than having a smart brain.

Doing research can be as fun as diving. The deeper you dig/drive, the more beautiful scenery you get. And it's definitely worth fighting for.

Dr. Patria Kusumaningrum

Ph.D., Civil Engineering, Indonesian, moved to Akita in November 2013

秋田大学大学院工学資源学研究所
研究推進員 若狭 幸さん

<研究内容について>

秋田県全域の河川水について研究しています。特に、強酸性で高温な玉川温泉周辺の河川水の成分が下流にどのような影響を及ぼしているのかや、廃鉱山の周辺地域への影響などについて調べています。



進路を決定したきっかけや今の研究をしようと思ったきっかけを教えてください。



高校生のとき、レイチェルカーソンの「沈黙の春」を読み、地球環境問題について自分のできることをしたいと思ったからです。高校の時の地学の先生が背中を押してくれました。また、折に触れ、善き出会いがあり、ここまで来たと思っています。ご恩を受けた方は数知れません。その方たちへの恩返しも含めて、みんなの住む地球の環境について研究していきたいと願い、努力を続けています。



女性大学院生・学部生の皆さんへのメッセージを一言お願いします。



私のころは子供を持ちつつ働く女性というロールモデルが少なく、将来自分がどうなっていくのかビジョンが持てませんでした。現在はいろいろな先輩たちがいらっしゃいますので、自分のビジョンと重ねつつ、いろんなことに挑戦して行ってほしいと思います。これからの高齢化のために、女性労働力が不可欠ですし、少子化対策のためには女性の力は必須です。5年先、10年先を見据えながら、賢く、聡明に立ち回って行ってほしいと願っています。

男女共同参画推進室長からのメッセージ

やればやるほど面白くなる、研究が楽しくてたまらない、という時ばかりではないのが研究生の実情です。学部生時代とは違い“大人”の社会的責任が重く感じられることもあるかもしれません。そのようなときは、研究を支えてくれる“仲間”とおしゃべりをしてみてはいかがでしょうか？若いみなさまのこれからの活躍を祈念し、“女性大学院生・学部生のためのキャリア・パス講演会”を開催いたしました。

秋田大学男女共同参画推進室長 渡部 育子



参加者のみなさんに感想を聞いてみました

家事、育児をしながら仕事をしているので山口先生のお話は共感できる部分も多く、非常に興味深く聴かせて頂きました。

女性がもっと研究職につき、それが常識となることが大切だと思います。

研究と家庭を両立させるには、その人の力量による部分と、社会のシステムによる部分のどちらが重要であるのか深く考えさせられました。

主催：秋田大学 男女共同参画推進室 **coloconi** 

〒010-8502 秋田市手形学園町1番1号 TEL：018-889-2260 FAX：018-889-3186
E-MAIL：sankaku2@jimu.akita-u.ac.jp HP：http://www.akita-u.ac.jp/coloconi/